

+ いわかぜの取り組みについて

2016年10月28日付日本経済新聞掲載

日本経済新聞

2016年(平成28年)10月28日(金曜日)

私見卓見

OPINION

いわかぜキャピタル社長
植田兼司

私は小さなプライベート・エクイティ(P.E.)ファンドの代表をしている。主に機関投資家から長期にわたる投資のコミットメントを取り付け、投資家の資金をもとに、何らかの要因で困った状況にある企業、あるいはもっと成長したいと考えている企業を友好的に買収する。そして経営陣とともに時間をかけて企業を再生・成長させ、何年か後に対象企業の株式を売却し、投資家に配当する仕事だ。

8年前、アニメの制作・コンテンツ会社への投資を決断した。大きな営業赤字に苦しんでいた企業でもあり、私が以前所属していたハゲタカファンドの仲間もみな反対した。しかしアニメは日本の技術が詰まった産業であり、グローバルに十分戦えること、

PEファンド、中小企業を底上げ

当該企業が制作のみならず多くのコンテンツ・ライセンスを有し、ここに活路を見いだせることを考慮して実行した。現実には厳しく、リーマン・ショック後は資金繰りに苦しんだ。2009年には3月31日の支払日当日の明け方に、本業でないゲーム子会社の売却が決まって資金繰りにめどがついたこともあった。

アニメは芸術でもあるので、難しいところもあったが、作品ごとの黒字確保を徹底し、社内のマインドセットを変えた。すばらしい経営陣に恵まれて買収後の施策を進めていった。インターネットやスマホによる動画配信といった時代の追い風に助けられたところもあるが、投資時点でマイナスであった償却前営業利益率(売上高比)は昨年度は48%まで回復した。

我々はファンドであり、いつかは株式を売却して投資家

に配当還元しなければならぬ。今年がまさにそのEXIT(出口)の年であり、国内の大手事業会社に売却を決めた。経営陣、従業員にも安心感を与え、我々の投資家にも8年間のリターンとして年率11%の運用利回りを実現することができた。

PEファンドの真価は長期のリスクマネーを求める企業にそれを供給することにも、経営にコミットして成長の wingsを担うところにある。こういった手法は米国で1980年代に広まり、我が国でも伸びてきたが、まだまだ定着したとは言いがたい。

日本経済の活性化が叫ばれる中、投資家にとっても、受け入れる企業にとっても、PEファンドはいま一度考慮されるべき手法ではないか。何らかの強みを持つ中堅・中小企業の底上げが進めば、日本経済の先行きも明るい。

+ いわかぜのPE戦略

中国を中心としたアジアと日本を繋ぐ新たなPE戦略を追求します。

日本企業

- 中堅・中小企業は、経営者の高齢化・後継者問題・成長資金の確保が困難などの問題に直面
- しかしながら、中堅・中小企業には世界基準でも十分に戦う事のできる素地を持つ企業が多い
 - 満足度の高いサービス
 - 技術
 - 知的所有権
 - 製造・サービス工程
 - 高質・高安全商品
 - 優秀な人材
- コーポレートガバナンス・会計基準・法令順守が徹底されており、投資家の観点からはリスクを低く抑えられる

アジア / 中国マーケット

- 国内市場の急拡大と、中間層の購買力の増加
- 国内製品の品質向上の限界
- 海外の優れた技術やサービスを取り入れる為のジョイントベンチャー設立基盤の整備が進行
- 政府・各自治州の役所が自国の産業を活性化させるため、日本企業との提携に積極的
- 日本企業の製品・技術・サービスに対する「尊敬」、「憧れ」、「好感」がまだ存在する

いわかぜは、中国を始めとするアジア地域での成長可能性を有する
日本の中堅・中小企業に投資します

+ いわかぜの投資分野

いわかぜは日本がグローバルに強みを持つ分野(非製造業に重点)に絞って投資します。

- いわかぜは、日本がグローバルに強みを持つ分野に絞り込んで投資をします。これらの分野は中国や他のアジア市場の急激な成長を向こう5-10年に渡って享受できる分野です。
- これらの分野の中国・アジアの市場は大きく、今後中間層の拡大・国内消費の増加がドライバーとなり、一層の成長が見込まれる分野です。

メディア・コンテンツ	消費財	サービス・教育・観光	フィンテック・IoT・その他IT技術	自動車	電子・医療機器
■ キャラクター ■ アニメーション ■ ゲーム ■ コミック ■ デジタルコンテンツ ■ 玩具 ■ VR(バーチャル・リアリティ) ■ エンターテインメント	■ 家庭用設備 ■ 食品 ■ 日用品 ■ 化粧品 ■ 楽器 ■ 健康食品	■ 外食 ■ 観光 ■ 教育 ■ セキュリティ・サービス ■ 物流	■ フィンテック ■ AI ■ ドローン ■ ロボット ■ 自動運転	■ エンジニアリング ■ ボディー ■ シャーシ ■ トランスミッション ■ エンジン ■ その他部品	■ 家電 ■ スイッチ / コネクター ■ IC / センサー ■ IT / ネットワーク機器 ■ 電池 ■ 医療機器

中国市場規模('15):	16兆円	460兆円	240兆円	12兆円	98兆円	71兆円
年平均成長率('14-'15):	15%	11%	24%	29%	5.8%	10%